

【講義】 支援の基本的な視点

社会福祉法人 あいのかわ福祉会

障害者支援施設 那須共育学園レスピット

佐々木 伸 也

この時間は、手順書に書かれている内容を理解し、実直に指示に従って支援を提供することの大切さを学びます。

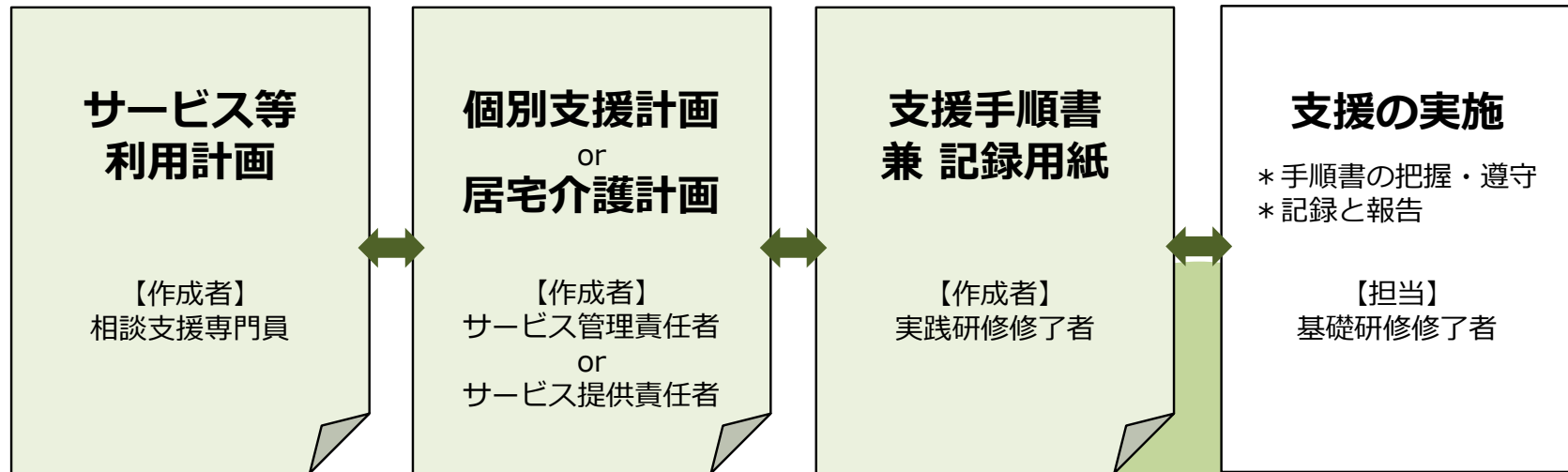
この講義を通じて、受講者のみなさまに知ってもらいたいことは、以下の3点です。

- 大きな計画を日々の支援に落としこむには、具体的な指示（書）が必要になること
- 指示どおり一貫した支援をする必要があること
- 記録をすることの大切さ

まずは、DVDを視聴します

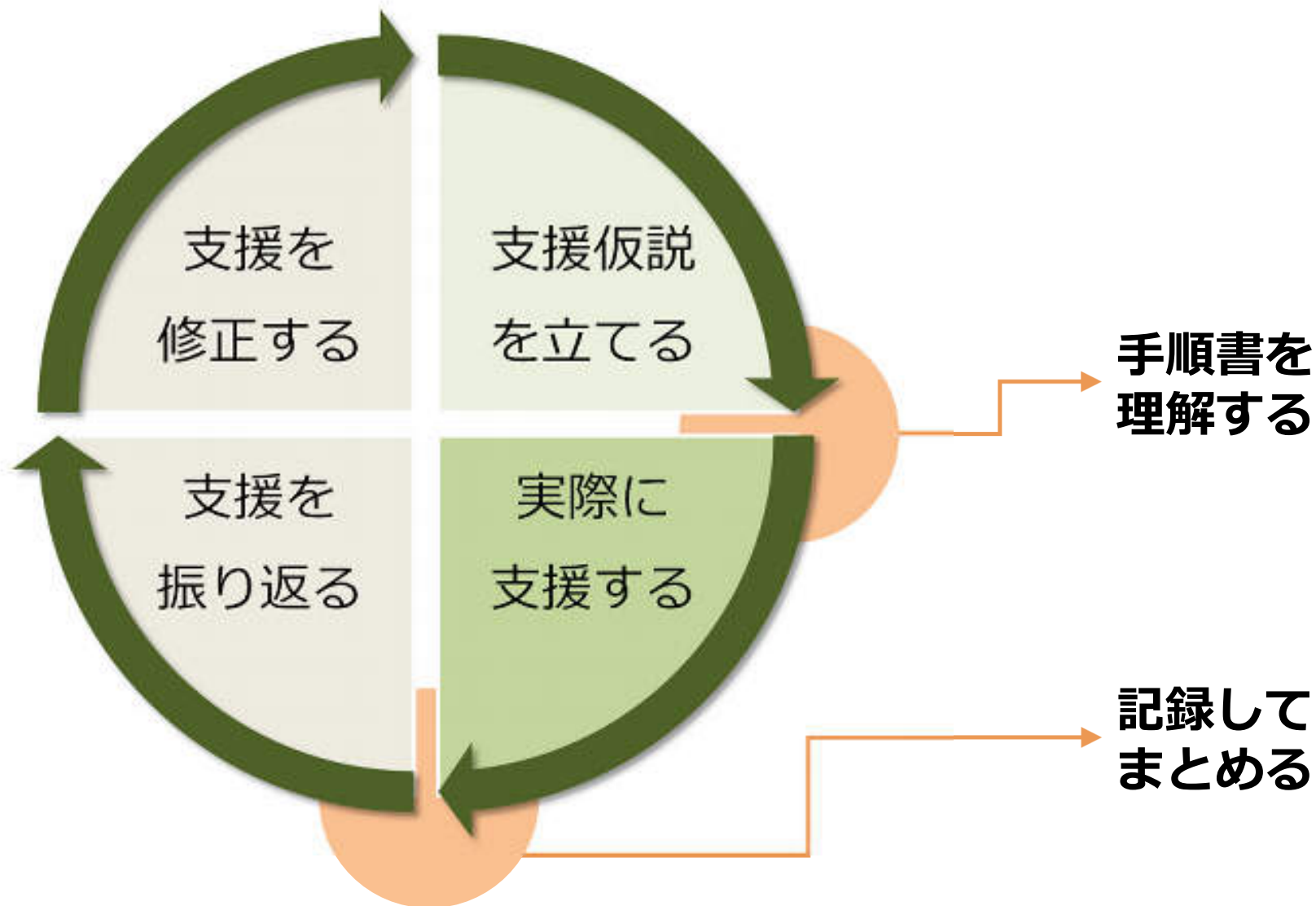


支援の基本的な流れ | 枠組み



- 日々の利用者の変化に応じた細かな支援の**変更**が必要
- 支援の記録を取り、修正に反映する仕組みが重要になる

支援の基本的な流れ | 日々の支援



様々な計画と支援の手順書

項目	テキストの頁
サービス等利用計画	110-111
個別支援計画・居宅介護計画	112
支援の手順書	113-114
記録のまとめ	115
手順の変更	116-117

記録の重要性

記録をつけやすい工夫をする

- すでに使われている記録を活用する（例：日誌の隅）
- 記録をする場所に記録用紙を置く（例：トイレの横）

記録を続けるために

- 欲張らない
- 何のための記録かを明確に
- 期限を設けて、チームで振り返りの機会を
- 振り返り（ミーティング）は時間制限を
- 次の振り返りの日程とそれまでのタスクを決める

例

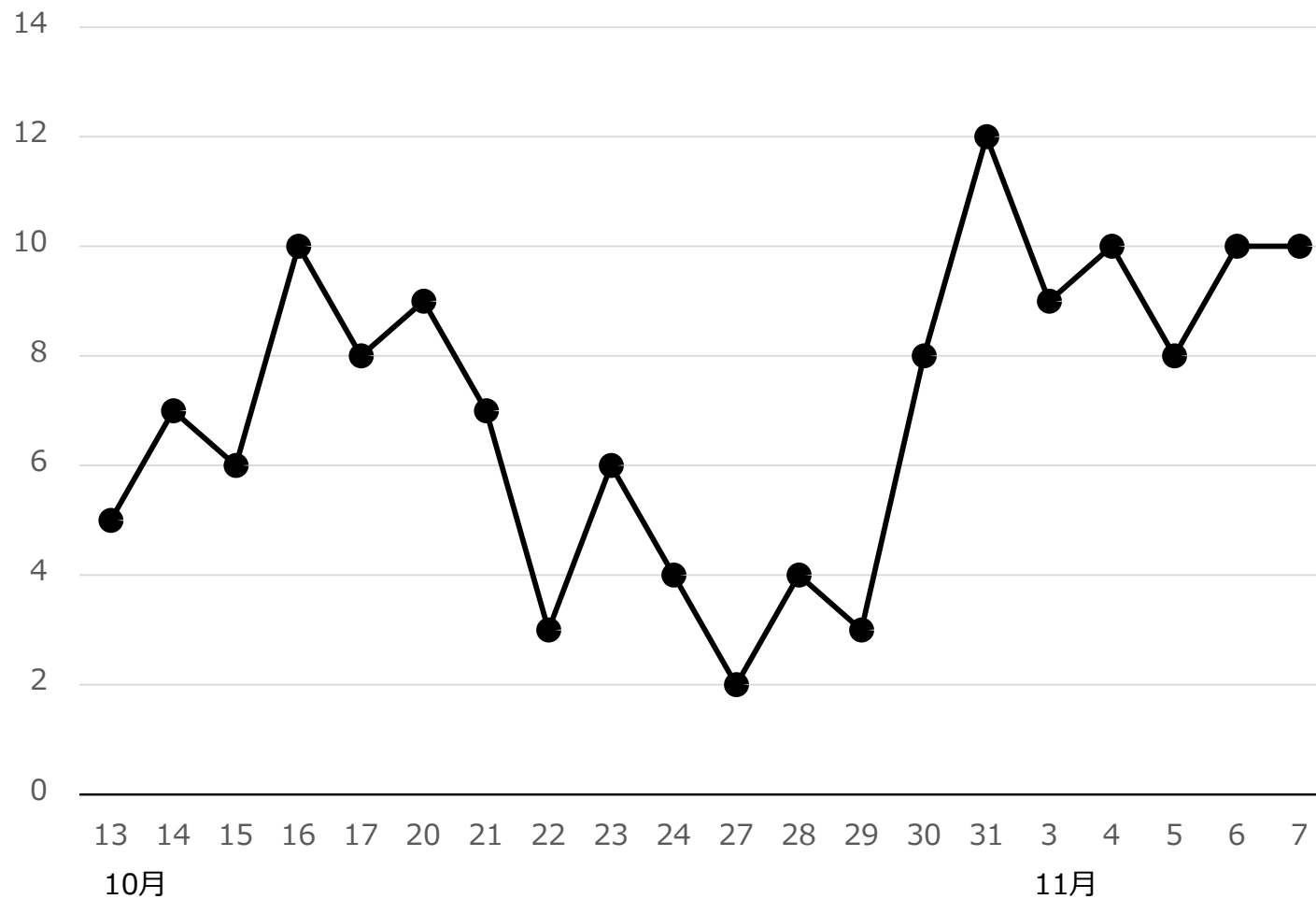
さんの行動記録

- 他の利用者に掴みかかる・・・●
- 危険を感じた・未然に防いだ・・・○
- その他の攻撃等・・・×

活動	10/13 (月)	10/14 (火)	10/15 (水)	10/16 (木)
来所・準備	●	○	×	
班別活動①				
お茶休憩	● ● ×		○○	
班別活動②		×		
昼食・昼休み	○		● ○	● ○
散歩				
自立課題		●		
帰り	○ ×			● ○

さんの行動記録

■ 他の利用者を突き飛ばした回数



___月___日の 高崎のぞむ さんの行動記録

起きた場面・状況	起きた行動	行動の後に起きたこと
<ul style="list-style-type: none"> 9:50頃、活動に向かう途中 〇〇さんが大声を出しながら廊下を行ったり来たりしていた 気にする高崎さんに職員（××）が制止して作業室に促した 	<ul style="list-style-type: none"> 〇〇さんを気にして近づこうとした 職員にされると興奮が高まり壁を蹴った 	<ul style="list-style-type: none"> 職員（××）の誘導で作業室に移動し、作業に取り組むことができた 作業をしているうちに興奮は治まった
<ul style="list-style-type: none"> 13:00過ぎ、散歩前のトイレ 入れ違いに〇〇さんがトイレから出てきた 	<ul style="list-style-type: none"> 突然、〇〇さんに頭突きをした 	<ul style="list-style-type: none"> 職員（△△と××）が制止 静養室に誘導され、落ち着くまで一人で過ごした（約30分）

※関連しそうなその他の情報

- 前日の夜は寝付きが悪く、睡眠時間が4時間程度。
- 最近、睡眠が乱れているとの母からの情報あり。

まとめ

- サービス等利用計画や個別支援計画と、実際の支援の間には開きがある
 - 支援の現場では何らかの「指示」が必須
 - 指示にはいろいろな形がある
- チームで一貫した支援を行う
 - 勝手な判断で支援の方法を変えない
- 記録を取り、まとめ、報告することで支援のサイクルを回す
 - 記録は継続できるように無理のない形とする
 - 最初は慣れなくても、記録のまとめは継続する
- 情報・評価・支援内容等に必要な情報は、サービス管理責任者／サービス提供責任者に質問・確認を